

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成 24年4月9日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4675100111号
法人名	有限会社 フェルナンデス
事業所名	グループホーム ひだまり
所在地	鹿児島県伊佐市菱刈重留1137 (電話) 0995-24-1688
自己評価作成日	平成 24年3月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居期間が長期化してくるにともない、機能レベルの低下を来たしてきている現状の中で、個人の生活のスタイルに個別に合わせ、寝て過ごす時間も関わりを絶やすことの無い様に努めている。四季の味わいを穏やかに共有しながら安心した時間を心がけるとともに、機能の低下を少しでも緩やかにできるように生活の場面の中での活動を取り入れている。

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成24年3月26日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

伊佐市の閑静な住宅街に建つ、開設して11年目を迎える地域の中核的な存在のグループホームである。法人は他にも訪問介護事業所、デイサービス、有料老人ホーム、グループホームを運営し地域高齢者福祉の一端を担っている。利用定員6名のアットホームなグループホームであり、カラオケ大会や花火大会、ミニ喫茶、手作り弁当持参の遠足など利用者を楽しんでもらいたいとの思いでさまざまな取り組みを行っている。毎月作成しているホーム便りからも、趣向を凝らしたレクレーション風景や日常の生活が良く伝わり、利用者が自然体でさまざまな事に楽しみながら取り組んでいる様子が伺われる。

昨年より自治会にも加入し、地域全体の水害に対する避難訓練への参加や地元消防団との連携、近隣住民との協力体制、有線放送・非常用ブザーの設置でより地域の一員としての関係を強化している。

入居期間が長期化し、加齢に伴う重度化は現実のものとして受け止め、医療機関や訪問看護ステーションとの支援体制を充実させて安心してホームでの生活が継続できるように努めている。また、看取りに対する支援についても、これまでも看取りの経験があり、利用者、家族の要望に応えられるように職員全員で前向きに取り組んでいる。

伊佐市の地域密着型サービス事業所の連絡協議会で、当事業所は「グループホームとして少人数のケアだからできること」をテーマに事例発表を行っている。今後も管理者の下、6名の家庭的な事業所の特性を活かし、利用者、家族、地域、職員が一体となったさまざまな取り組みが更に期待される。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を念頭に入居のペースで生活できるように振り返り努力している。	職員全員で作上げた理念であり、事業所の役割を理解しながら職員に分かりやすく浸透しやすいものを作成している。ホーム内、職員の目につきやすい個所に職員手作りのあたたかみのある壁飾りのように掲示して、日常の業務で迷ったときは、理念を確認して実践に繋げている。また、ミーティング時に理念の意味を改めて再確認することもある。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣からは野菜などの頂き物が来たり、公民会に新規で加入するなど協力を頂関係を持っている。	昨年より自治会に加入し、地域の合同の防災訓練に利用者とともに参加したり、有線放送、緊急ブザーの設置などを通して、より地域の一員としての交流が図られている。また、日常的に散歩や買い物などで挨拶を交わし、近隣と、おすそ分けなどをしながら自然体での交流が行われている。中学生の職場体験、高校生の実習などの受け入れも実施し、子どもたちとの交流をもっている。地域の夏祭り見学や県下一周駅伝の応援などにも地域の一員として横断幕を作成し、応援に出かけている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	相談を受けたり話し相手になったりしながら助言を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議で頂いた意見はミーティングでスタッフへも伝え活かしている。	地域住民代表、民生委員、家族、行政などの参加を得て2ヶ月に1回開催している。ホームの現状報告や行事について、行政からの情報、地域の高齢者についての話し合いなども行っている。ときには、感染症・熱中症対策についての勉強会も行っている。家族にはできるだけ参加してもらえるよう促しており、全家族に運営推進会議が浸透している。	

鹿児島県 グループホームひだまり

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>常日頃より気軽に相談出来るよう努力している</p>	<p>生活保護受給者もおり、行政とは日頃より連携を図りながら、協力関係を築くように努めている。伊佐市から敬老の日のお祝いに訪れることもある。また、民生委員の見学の受け入れも行い、介護保険制度や認知症についての勉強会なども行っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束に当たる行為は選択肢にないものと理解し、常に振り返りや申し合わせ確認を行っている。</p>	<p>利用契約書にも明記しており、身体拘束のないケアの実践に取り組んでいる。また、職員が目につきやすいようにホーム内にも手作りの家庭的な雰囲気額にして掲示している。毎月のミーティング時にさまざまな事例を取り上げて身体拘束についての事例検討会を行っている。ときには「身体拘束禁止の対象となる具体的な行為」を読み上げて職員に意識付けを行っている。日中は施錠などせずに職員間の連携で安全で自由な暮らしを支援している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ミーティングなどで事例を取り上げたりして振り返りを行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>スタッフの中には全く理解していないものもあり今後の課題とする必要あり。</p>		

鹿児島県 グループホームひだまり

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明後意見の意向の確認は必ず行い言えるように注意している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	訪問時等のコミュニケーションは充分にとっているが何でも言ってもらえる環境作りには努力している。	日常の面会時や電話連絡時、家族会や催し物の際に意見・要望を聞き出すように心がけている。6名の少人数のホームのため、家族との信頼関係をより深く築けるように努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の声は聞くようにし必要な内容は上層部で検討して改善している。	毎月、全員参加でミーティングを行って、職員の意見・提案を引き出すようにしている。また、利用者の現状確認や必要に応じた勉強会も取り入れている。出された意見・提案については可能な限り反映できるように検討している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員を増やし無理な勤務にならないように努め、定期的な懇親会を行い、環境にも気をつけている。		

鹿児島県 グループホームひだまり

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>資格取得等は時間を作り、指導や教育を行い可能な限り研修への参加も進めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>協議会へ参加し勉強会の参加など支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>関係者から情報を得ると共に本人との関係作りに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>可能な限り声を聞くようにしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受けた段階で他のサービスの説明をしたりケアマネジャーへつないだりしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>一緒に行う過ごすを常に申し合わせている。</p>		

鹿児島県 グループホームひだまり

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	細かに家族と連絡を取り合いながら分担するべきは分担し協力して行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	出かけることはなかなか難しくなってきたが、面会の場面の設定や便りなどを行っている。	本人の希望による墓参り・自宅周辺のドライブ・買い物・手紙などなじみの人や場との関係継続の支援を行っている。また、友人知人の訪問もあり、より訪ねやすい雰囲気作りに配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	スタッフも一緒になり一緒に行えるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族との関係は終了後も続いており相談等に応じている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	聞く事を心がけ表情や状態を踏まえ努力している。	何をするにも本人の意思確認をしてから行うように心がけている。会話の中から思いや意向を把握し、困難な場合は表情、言動、家族や関係者からの情報などから本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や担当のケアマネージャー等の連携に努め情報を得るようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	月日の経過で出来ること活動内容も少なくなってきたが、日によって体力によって生活内容を検討して過ごしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の意見というのは難しくなってきたが生活状況や表情などから読み取ったりしながら計画を検討している。	本人、家族からの思いや意見を聴取しサービス担当者会議を開催して、個々に応じた介護計画を作成している。偏食の激しい利用者についての食事支援や外出、外泊支援、家族・知人との交流支援、気分転換の支援など職員の意見なども取り入れて現状に即した個別性のある介護計画を作成している。毎月、モニタリングを行って、必要性に応じて随時見直しを行っている。	

鹿児島県 グループホームひだまり

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>朝夕の申し送り、申し送り等を十分に活用し、意見交換を行いながら全員で共有するように努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人からの訴えは少ないながらも入院時は家族と協力し、個々の事情に合わせて面会や食事介助、洗濯の支援など行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>買い物や散歩などに出かけ地位の人とのコミュニケーションを行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関に限らず、これまでの医療を維持して行っている。</p>	<p>本人、家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。ホームより受診同行しており、結果は家族に随時報告している。協力医療機関とは24時間緊急時などの連携が図られている。</p>	

鹿児島県 グループホームひだまり

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	週に1回、訪問看護と協力して良好な関係を築けるよう協力している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	入院時にはサマリの提供をし本人の混乱が少なくすむように日に一回は面会し病院関係者とも意見交換を行っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	段階に応じて説明を行い、必要時関係者で話し合いをし、医師への説明のもと書式にて確認実施へとしている。	重度化や終末期に向けたホームの指針は職員全員で話し合い、家族にも分かりやすい内容を意識し作成している。同時に同意書と終末期及び急変時における確認書も作成している。入居後も利用者の身体状況に応じて、主治医を交えて方向性を話し合い、全員が方針を共有してチーム（かかりつけ医・訪問看護・職員・家族）として支援に取り組んでいる。これまでに看取りの経験もあり、本人・家族の希望に沿った支援を行っている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	マニュアルによる勉強会はあるが、実施の検討、実施へ向けての調整中		

鹿児島県 グループホームひだまり

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地域の訓練に参加したり、ブザーで協力頂ける体勢等あり</p>	<p>年2回、昼夜間想定で避難訓練を行っている。近隣の方々にも参加してもらい、それぞれに役割をお願いしている。また、有線放送、緊急用のブザーの設置により、地域との協力体制も築いている。スプリンクラーも設置され自動通報システムには近隣の方々も登録されている。地域全体での避難訓練にも参加しており、地元消防団との連携も図られている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	歳月の経過でスタッフ利用者、慣れ合いになっている部分もあるが「尊厳」というこのは念頭に振りかえり振りかえり行っている。	利用者個々に応じて声かけなど配慮しながら対応している。ミーティング時に勉強会も設けて職員の資質の向上に向けて取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	聞く事、待つ事を申し合わせ選べる声かけを心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望はなかなかでないが楽しみのある生活になるように声かけ努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	それぞれにその人らしさを心がけて支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る事は少なくなってきたが、少しでも関わってもらえるように一緒に行う努力をしている。	個々の力量に応じて、干し大根作り、梅干し、味噌作り、そばうち、ちまき作り、ギョーザ、巻き寿司など、利用者が楽しみながら取り組めるように職員が支援している。ときには、ミニ喫茶を開いて、飲み物など利用者に選んでもらったり、毎月、手作り弁当持参で遠足にも出かけるなど、楽しみながらの「食」も支援している。また、行事食では季節を感じてもらえるように配慮している。	

鹿児島県 グループホームひだまり

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	把握、チェックを行い好みの物を出すなどしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	三食後の歯磨き義歯洗浄、夜間の洗浄剤、舌の洗浄など支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりのパターンに合わせて昼夜の支援内容など変えて実施中。	個々の排せつ記録を取り、排せつパターンを把握して、トイレでの排せつを支援している。気候や個々の状態に応じて、布パンツに変えることもあり、随時、見直しを行いながら支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事内容に食物繊維を入れるなどして行っている。		

鹿児島県 グループホームひだまり

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	希望者は毎日入浴できるよう声をかけるなどしている。	希望があれば毎日の入浴も可能で個々に応じた入浴の支援を行っている。また、夏場は出来るだけ、毎日入浴できるようにして清潔の保持に努めている。ときには、ゆず湯、薬草湯、菖蒲湯、入浴剤などで季節を感じながら入浴を楽しんでもらうこともある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寝る時間、寝る場所希望に添えるようにこころがけている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の変わった時など起こり得る事等、事前に伝え観察が行き届くよう申し合わせを行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日によって体調によって散歩に出たり、レク活動をしたりして過ごしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節ごとに遠足に行ったり花を見に行ったりなど外出の機会を作っている。	日常的に近所のドラッグストアやコンビニ、菓子屋などに散歩を兼ねて出かけている。外出が困難な利用者に対しては、天気のいい日は庭で日光浴やテントを張ってミニ喫茶を行うなどして、出来るだけホーム内に閉じこもらない生活を支援している。毎月、外出のレクリレーションも取り入れ、ときには、手作り弁当持参で出かけることもある。	

鹿児島県 グループホームひだまり

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族管理となっており持っている人は少ない。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>子供さんからの手紙に返事を書いたり年賀状などで交流を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>イオンプラズマクラスター（空気清浄機）、を導入した他、加湿器、除湿器を使い管理を行っている他、季節の花を飾ったり臭いなどには換気や芳香剤を使っている。</p>	<p>6名の少人数のホームのため、ほど良い広さの家庭的な共用空間となっている。食事のダイニングとくつろぎのリビングに分かれており、リビングにはこたつも置かれ、利用者は椅子に座ったままで足を温めることができる。加湿器、空気清浄機が置かれ、冬場の乾燥や換気に対する配慮もなされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>コタツやテーブル、ソファーなど使い分けて過ごされている。</p>		

鹿児島県 グループホームひだまり

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人に合わせて寝具やベッドの調整を行い、必要なものを入れたり引いたりしながら調整して生活を支援している。	本人が居心地良く過ごせるように使い慣れた物品を持ちこんでもらっている。また、個々の希望に応じて居室の工夫を行って、安心して生活してもらえるように配慮されている。日当たりも良く、天気の良い日は布団も干され、清潔が保持されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	生活状況に応じて家具などの配置を換えたり、手すりなどを付け替えたりして対応している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホームひだまり

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホームひだまり

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない